

知財コンサルティングセンター勉強会（PCIP）「独立技術士の仕事の取り方」

PCIP 会員15名、一般8名が参加され、活発に質疑が行われました。

2020年9月19日土曜日AM9:30～11:00 zoomによるweb会議

入澤特許技術事務所 入澤 直志 氏 （弁理士、技術士：化学）

会社勤務時に技術士資格と弁理士資格を取得し、退職後すぐ特許事務所を立ち上げました。2013年5月の開業から7年余り経過しましたが、事務所を何とか継続していく上で一番苦労したのは仕事の取り方でした。その一事例として、独立前の準備も含め紹介したいと思います。私の経験が今後独立したい方の参考になれば幸いです。

前嶋技術士事務所 前嶋 満 氏 （技術士：電気電子）

技術士資格を取得後、会社を退職して独立を考えている方が多いと思います。

私もその内の1人です。しかし、いざ独立・起業をしようとしたとき、どのように仕事をしていくのか、多くの方は明確になっていないと思います。

今回、独立後の仕事の仕方について、どのようにすれば良いのかについて、私の経験をもとにお話したいと考えています。独立は2019年2月であり、2年に満たない期間ではありますが、仕事は少しずつ増えて来ています。私の経験が、今後独立したい方の参考になれば、幸いです。

2020年9月19日

独立技術士の仕事の取り方

一技術士(&弁理士)活用の一事例

入澤特許技術事務所
技術士(化学)・弁理士
入澤 直志

本日の内容

0. 自己紹介

1. 事務所開業

- (1) 開業に当たって
- (2) 事務所紹介

2. 事務所のこれまでのあゆみ

- (1) これまでのあゆみ
- (2) 提供サービス
- (3) 事務所のクライアント

3. 仕事の取り方

- (1) 自分と取り巻く環境を客観的に把握
- (2) 開業前の準備が大切
- (3) 営業活動の進め方

4. まとめ

0. 自己紹介(入澤直志)

- 北海道出身
- 1976年3月 東北大学 理学部 物理学科卒業
- 1978年3月 東北大学大学院 理学研究科 物理学専攻 修士課程修了
- 1978年4月 **D社(電子部品メーカー)入社**
－マイクロ波用誘電体セラミックス等の開発・製品化に従事
- 1985年3月 **G社(ガラスメーカー)入社**
－同社研究所・工場・関係会社でセラミックス基板、Liイオン二次電池用正極材料、半導体装置部材用CVD-SiCコーティングなどの開発・製品化に従事
※技術士(化学)登録(2003年)
- －2007年より、同社カンパニー部門にて知財戦略の立案・支援、特許調査、出願相談など知財管理業務全般を経験
※弁理士登録(2012年)
- 2013年4月 **G社退職(定年退職)**
- 2013年5月 **入澤特許技術事務所(新横浜)を開所** <http://www.irisawa-pat.jp/>
主な業務
- ①特許調査(無効資料調査、クリアランス調査、先行技術調査、技術動向調査、SDI調査、特許調査教育など)
 - ②特許出願・権利化、その他
- ※PCIP幹事(2014年～2020年)

1. 事務所開業

(1) 開業に当たって

- ✓ 開業に当たっての状況把握（一般的又は個人的な見解）

出願系業務

- すでに大手特許事務所とのルートが確立済
- 個人事務所や小規模事務所では不安
- 弁理士の増加に対し、国内出願は減少

調査系業務

- 事務所の規模は必ずしも問わない
- 弁理士の場合、調査系業務をあまり扱わない
- 日本特許だけでなく、外国特許も調査対象となりうる

- ✓ 開業時の基本方針

独立技術士(&弁理士)として特許事務所を経営したい
特許出願に加え、特許調査も扱いたい(特徴として)

⇒ 事業計画、収支計画の立案

収入の確保(仕事の取り方)の見通し？

1. 事務所開業

(2) 事務所紹介

2013年5月に新横浜で開業

<http://www.irisawa-pat.jp/>



入澤特許技術事務所
Irisawa Patent & Engineering Office

045-620-4650
営業時間:平日9:00~17:30 定休日:土日祝

ホーム Home	事務所概要 Office outline	業務内容 Work content	弁理士紹介 Patent attorney introduction	料金表 Schedule of fees
-------------	-------------------------	----------------------	---------------------------------------	-------------------------

HOME> 事務所概要

事務所概要

■ 事務所概要

■ ご挨拶

■ 事務所の特徴

事務所概要

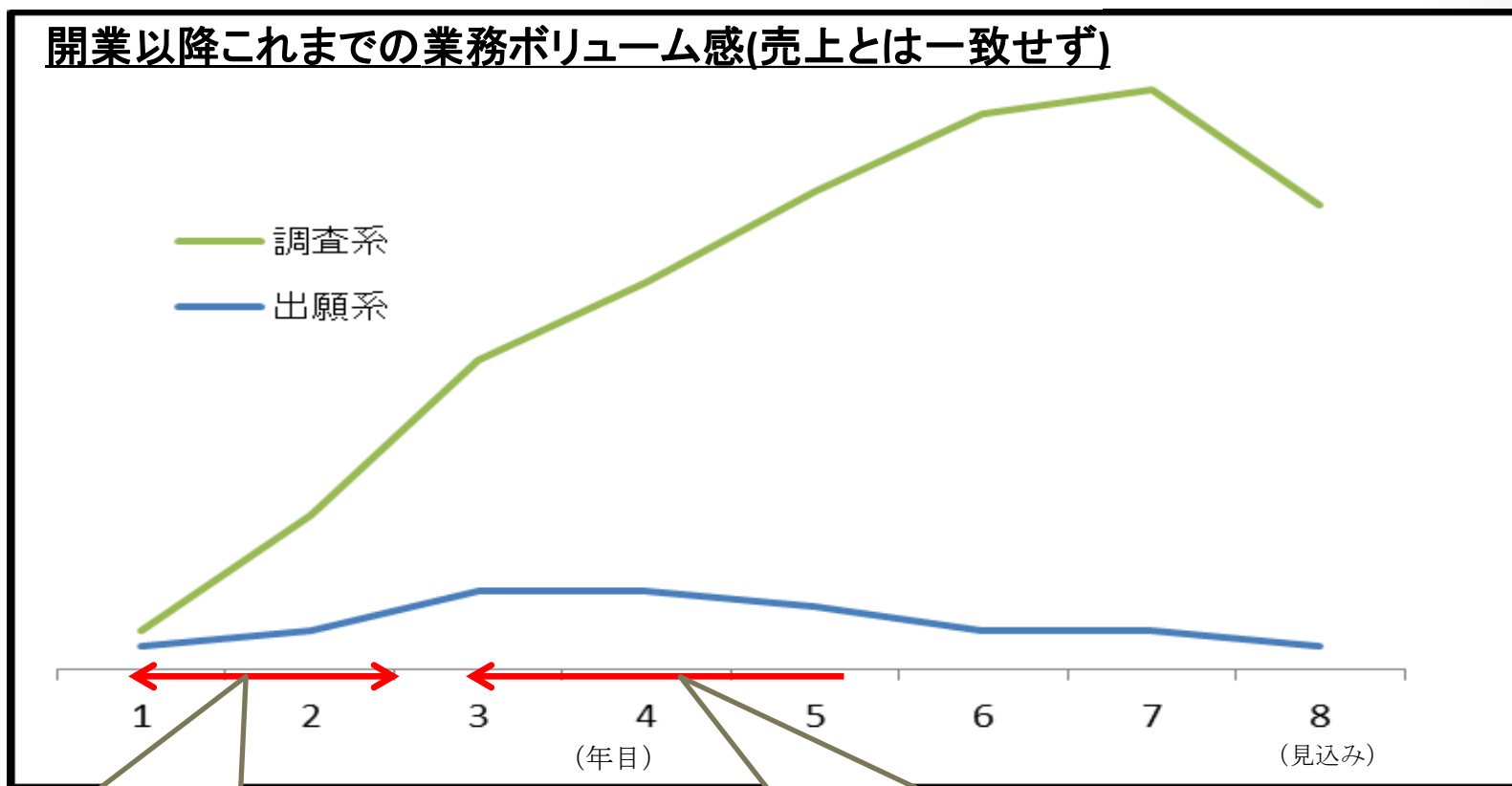
事務所概要

名称 : 入澤特許技術事務所
所長 : 弁理士 入澤直志 代表プロフィール
所在地 : 〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜 3-8-8 日総第16ビル 11階
TEL : 045-620-4650
FAX : 045-620-4651
E-mail : info@irisawa-pat.jp
ホームページ : <http://www.irisawa-pat.jp/>
設立 : 2013年5月
営業時間 : 9:00~17:30
定休日 : 土曜・日曜・祝日

2. 事務所のこれまでのあゆみ

(1) これまでのあゆみ

✓ 開所から7年余り経過



1、2年目までは経営的に苦しかった
⇒ 費用削減
⇒ 営業活動(客先開拓)など

3年目頃から調査系の業務が順調に拡大
⇒ 調査系業務を主体とする
⇒ 出願系は従来の客先のみで現状維持

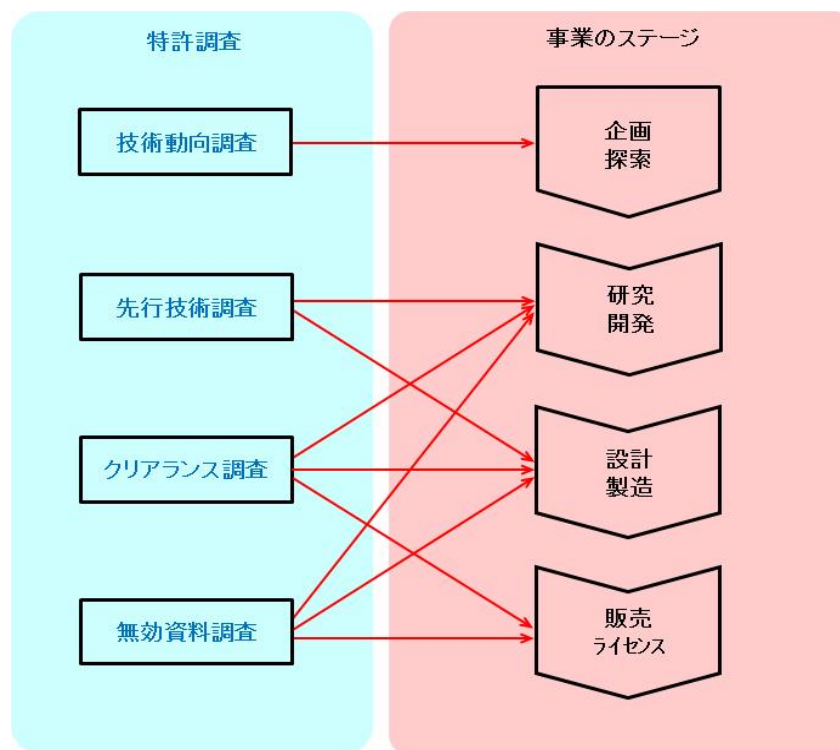
2. 事務所のこれまでのあゆみ

(2) 提供サービス

✓ 調査系業務(特許調査)

が大部分

- ・ 無効資料調査
- ・ クリアランス調査
- ・ 先行技術調査
- ・ 技術動向調査
- ・ S D I 調査
- ・ 特許調査教育など



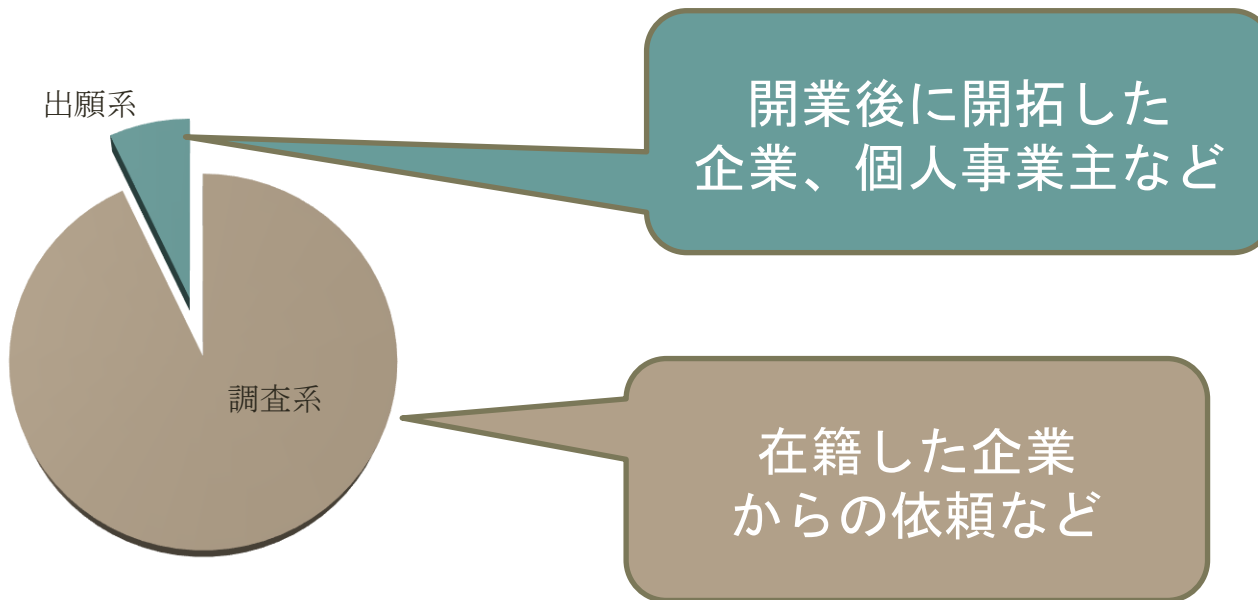
✓ 出願系業務(弁理士業務)は少ない

- ・ 特許出願及び権利化、審判、異議申立など
- ・ 商標など

⇒ 大部分が調査系業務で技術士として可能なサービス
但し、弁理士でもある方が有利であるが・・・

2. 事務所のこれまでのあゆみ

(3) 事務所のクライアント



- ✓ 調査系業務でマンパワー的に手一杯
- ✓ 調査系業務の多様性、継続性

⇒ 3年目位から特許調査業務をメインとする方針へ転換

3. 仕事の取り方

※ あくまでも私の個人的見解、経験です。

(1) 自分と取り巻く環境を客観的に把握

✓ 現状だけでなく近い将来も含める
(現状と近い将来のギャップの認識)

- 専門分野、得意分野、セールスポイント
- 保有資格
- 健康（家族も含め）
- 年齢、開業期間
- 投入資金、運転資金
- 収入（どの程度必要か、期待するか）
- ネット、SNS

3. 仕事の取り方

(2) 開業前の準備が大切

開業前は時間的/精神的に余裕(?)
スキル及び実務能力の向上を目指す

私の場合、特許調査、特許出願を中心業務と想定し、
以下を活用しながらスキルの向上に努めた

- ・ 弁理士会（研修など）
- ・ 弁理士関連機関（共同組合、会派）
- ・ 特許庁、INPIT
- ・ 知財協（JIPPA）
- ・ PCIP
- ・ JPDS
- ・ 情報科学技術協会
- ・ 各種セミナー、書籍、その他

実践する機会も重要（実務能力を養う）

実務で特許調査を経験

3. 仕事の取り方

(3) 営業活動の進め方

クライアントに自分を売込む必要がある

私の場合、調査系業務では企業の知財部が主な対象



在籍した企業への売込みなど

- ✓ 事務所開業の関係者へ連絡や事務所のHPの作成など
(在籍した企業との人的なネットワークを活用など)
⇒ あくまでも、最初のきっかけにすぎない
- ✓ 与えられた機会でクライアントの期待に応えるよう務める
(クライアントの期待に応えらなければ、それで終わり?)
⇒ **品質、納期、価格の管理が重要**

4. まとめ

- ・スキル向上だけでなく実務能力も磨くべき
- ・自身の現状(少し将来も含め)を客観的に把握すべき
- ・クライアントへの売込み手段を検討すべき
(在籍した企業とのネットワークの活用など)
- ・事務所開業時の出費はできるだけ抑えるべき
- ・与えられた機会を活かし、品質等の管理に努めるべき
- ・自身・家族の健康、家族の協力にも十分留意すべき

独立後の仕事の仕方・取り方

前嶋 満 （電気電子：電子応用）

PCIP 勉強会資料（2020.09.19）



目次

1. 自己紹介
2. 独立フェーズ
3. 独立準備期間
4. 独立をめざすグループへの参加
5. 起業セミナー参加
6. 技術士業務
7. 独立の選択と覚悟
8. 独立後の業務
9. 独立技術士に必要なこと
10. 最後に



1.自己紹介

- 会社勤務
 - ・ストレージ開発部門で製品開発を担当
「アナログ回路設計、高速信号伝送」
- 会社退職
 - ・2019年2月15日 早期退職
- 事務所設立
 - ・2019年2月 前嶋技術士事務所 設立
住所：東京都港区西新橋2-8-1
ワカサビル4F(創造工学研究所内)
独立後、1年7か月間の技術士業



2.独立フェーズ

➤ 技術士独立までの期間を設定

- ✓ 技術士試験受験時から、独立を考えた。
- ✓ およその予定を5年周期で考えていた。

【技術士独立計画】

- ・技術士試験合格 : 5年以内→5年 (1次含む)
- ・独立準備期間 : 5年以内→7年
- ・独立後の安定化 : 5年以内

➤ 現状の業務状況

- ✓ 業務量が昨年より増加。
- ✓ 業務増加により、すべての依頼を受けられない。



3.独立準備期間

- 会社員時代に副業
 - 技術士二次試験の受験指導
 - 会社以外の仕事で、技術士業務の勉強
- 登録グループへの参加
 - IT21の会（第18期の会長を務める）
 - 技術士共同組合(現時点では退会)
 - 科学技術鑑定センター
 - CP&RMセンター
 - ライフプラン研究会
 - PCIP
 - PL事例研究会
 - 主に業務につながるグループへ参加
 - 参加することで自分を知らってもらう



4. 独立を目指すグループへの参加

- 小林企業会

- ライフプラン研究会の会員が発起人
 - グループで業務を引き受けて、独立技術士が共同で業務を担当。

- 創造工学研究会

- 既加入者からの紹介（現在も在籍中）
- 独立技術士より独立に関する話を聞ける
- 月1回の懇親会で、本音トークができる。
 - 独立セミナーでは、具体的内容や技術士業務の具体的な内容を聞くことができない。
 - ここでは、独立に関する具体的な相談ができる。



5.独立セミナー参加

- 各種の独立セミナーに参加
 - 日本技術士会主催
 - 新規開業技術士支援研究会
 - 拡大新規開業技術士支援研究会
 - 神奈川県支部主催の独立セミナー
 - 独立起業セミナー
 - 技術士共同組合主催
 - 技術士独立開業セミナー

各セミナーは、技術士業務の基本や体験談の話が聞ける。
しかし、自身が独立する際にどのように仕事を取るかについて、役に立つ内容はあまり無い。
また、実際に独立しないと、入ってこない情報もある。



6. 技術士業務

- やりたい仕事と求められている仕事は異なる。
 - 市場が求めている業務に合わせる。
 - クライアントが求めている内容に対応する。
 - 受けた仕事は調査してでも対応する。
- 自身の専門分野を生かした業務
 - それに特化するなら、現状の会社業務。
 - 専門分野を生かした業務は、少ない。



7. 独立の選択と覚悟

- 独立の覚悟の有無
 - すべて自己責任
 - 自ら動かないと、収入はない。
→覚悟を決めて独立する。
- 独立した技術士からの助言
 - 業務紹介経由の仕事は、収入が低い
多くを受けると、忙しいだけになる。
→自ら仕事を作ることが求められる。

独立か企業内かは、選択の問題。
独立には覚悟が必要。



8.独立後の業務

● 開業時の状況

- 技術士二次試験指導講師
 - 副業としていた業務継続
- 二次試験択一問題の解説作成
 - セミナー会社からの解説書作成依頼
- 本の執筆依頼
 - セミナー会社経由で本の出版の話があり、受託。
- 業務紹介会社からの仕事
 - 登録している業務紹介会社からの依頼。
これまでに合計2件（1件/半年）
最近では、業務多忙でお断りしている状態。
- 技術士内での業務紹介
 - 落合技術士からの業務紹介(1件)



8.独立後の業務

• 最近の状況

- 技術士一次試験の問題解説
 - 二次試験の講師をしているセミナーからの紹介
択一内容すべての内容解説と選択すべき解答の解説
- 事故に関する技術面での解析
 - セミナー講師及び、創造工学研究所経由での紹介。
 - PL事例研究会に出席と調査発表にて、紹介される。
- 創造工学研究所での技術コンサル業務
 - 製品開発に伴う設計業務、製品化業務、特許化回路設計と評価機作成。多用途に対応するため、機能別の回路設計と評価機の開発。



9. 技術士で必要なこと

- 登録グループに入る
 - 自分を知ってもらう。
 - 仕事紹介に繋がる
- 独立を目指すグループに所属
 - グループで仕事を受け、全員で対応。
 - 専門技術など、相談できる。
 - グループ内で業務紹介がある。
- 仲間を持つ
 - 創造工学研究所に訪れる（参考）
 - 独立に関する情報を入手できる。
 - 独立に関する相談ができる。

1人では難しい。グループに入る、作る。



10.最後に

- 仕事を楽しむ
- 仕事を受けすぎて、迷惑をかけない

